



パブリックコメント用

2020-2030
概要版

人と自然が共生し

確かな豊かさを実感するまち



©青山剛昌/小学館

第2次 北栄町まちづくりビジョン(案)

目 次

はじめに	1
第1章 序論	2
1. まちづくりビジョンについて	2
2. 策定プロセスについて	2
3. SDGsについて	3
第2章 北栄町の現状と課題	4
第3章 北栄町の将来ビジョン（2030年の目指すべき将来像）	10
第4章 施策の体系図・部門別計画	12
第1節 地域資源で稼ぎ賑わうまちづくり（産業・観光）	13
第2節 生涯学び未来を育てるまちづくり（教育・生涯学習・子育て・文化・スポーツ）	14
第3節 誰一人取り残さないまちづくり（人権・福祉・健康・男女）	15
第4節 安全で持続可能なまちづくり（環境・インフラ・安全・生活）	16
第5節 人と人とのつながりを育むまちづくり（コミュニティ・町政・交流・移住定住）	17
第6節 健全な財政運営	18
まちづくりビジョンの施策とSDGsの17の目標	19

はじめに

平成17年に北栄町が誕生し、新たなまちづくりの歴史が始まりました。

北栄町は北に日本海を臨み、黒ぼく土の肥沃な大地や白砂青松の景色が美しい北条砂丘が広がる自然豊かな町です。農業が盛んな地域であり、様々な魅力ある特産物が生み出されていること、町直営の風力発電施設に見られるように環境にやさしいまちづくりを進めていること、漫画「名探偵コナン」の原作者である青山剛昌氏の出身地であることを活かした「名探偵コナンに会えるまち」づくりを進めていることなどをはじめとして、様々な魅力にあふれたまちです。

北栄町に住む人は令和2年6月時点（住民基本台帳）で14,843人となっており、長期的に減少傾向にあり、2030年には12,491人、2040年には10,769人になるとの試算（国立社会保障・人口問題研究所推計）もあります。長期的な人口減少と少子高齢化は我が国全体が抱える課題でもあり、それに伴って生じる様々な問題が指摘されています。北栄町においても、産業の担い手の減少、地域コミュニティの維持、空き家の増加・商店の減少、子どもの減少と若者の地域外流出、交通手段の確保など様々な課題が加速化していくことが懸念されています。将来にわたって北栄町を持続可能な形で残し、次世代に引き継いでいくためには、これらの課題を乗り越え、目指すべき将来像を行政だけでなく町民、事業者をはじめとした関係者の間で共有し、一体となって取り組みを進めていく必要があります。

一方、世界に目を向けると、2015年9月の国連サミットにおいて「SDGs」（持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals）という国際目標が決まりました。これは、貧困、戦争、大きな経済格差、ジェンダー格差、不衛生な環境、地球温暖化、生態系の破壊など、世界中で解決すべき課題に対して17のゴールを設定し、それを達成することで世界全体を持続可能な形で発展させていくこととする目標のことです。今般のまちづくりビジョンの策定に当たっては、SDGsの考え方を積極的に取り入れた上で、2030年に北栄町が目指すべき姿を示すこととしています。



北栄町の景色 海岸沿いに立ち並ぶ風車

第1章 序論

▶ 1. まちづくりビジョンについて

■まちづくりビジョンとは

町の最高規範である「北栄町自治基本条例」に、「町の将来の目指すべき姿」を町民と共有するため「まちづくりビジョン」を策定すると定めています。町の総合的な計画として、10年程度の中長期にわたって北栄町が歩むべき道筋を明らかにするものです。

北栄町自治基本条例（協働のまちづくりの基本的なルールを定めた条例）



町の将来像を町民等と共有するため「まちづくりビジョン」を策定（条例第21条）

北栄町まちづくりビジョン（10年程度の町の歩むべき道筋）



基本的方向性を示す

個別計画（様々な分野ごとに具体的な施策や事業を定めた計画）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ・まち・ひと・しごと創生総合戦略 | ・子ども・子育て支援事業計画 |
| ・地域防災計画 | ・文化財保存活用地域計画 |
| ・農業振興基本計画 | ・介護保険事業計画 |
| ・中小企業・小規模企業振興基本計画 | ・高齢者福祉計画 |
| ・環境基本計画 | ・人権を尊重するまちづくり推進計画 |
| ・教育振興計画 | ・男女共同参画基本計画 等 |

まちづくりビジョンの位置付け（体系図）

■計画期間 2020年度～2030年度

■計画のフォローアップ、見直しについて

- ・1年に一度はその進捗を点検します。
- ・社会情勢や町勢の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

▶ 2. 策定プロセスについて

■ほくえい未来トークについて

2019年9～10月に「ほくえい未来トーク」と題したワークショップを開催しました。幅広い層の町民のみなさまと町の将来像等に関して一緒に議論し、この結果を新たなまちづくりビジョンの土台としました。

参加方法は、住民基本台帳から1,500人を無作為に抽出し参加をお願いするという方式を用いたほか、地元の鳥取中央育英高校の生徒やまちづくりビジョン検討委員にもご参加いただき、幅広い年代、

バックグラウンドを持った方々にご意見をいただくことができました。

■町民アンケートについて

2019年12月に、住民基本台帳から1,000人を無作為に抽出しアンケートを送付しました。北栄町の施策に対する町民の満足度・重要度や期待する北栄町の将来像等を調査しました。また、町内中学校に通学している中学2年生全員を対象にアンケートを実施しています。

■まちづくりビジョン検討委員会について

「北栄町まちづくりビジョン検討委員会」を設置し、産業、観光、教育、文化、環境、福祉、健康など様々な分野について深い知見のある20名の委員に様々な意見をいただき、計画に反映しました。

▶ 3. SDGsについて

持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）という、2030年までの国際的な目標が、2015年9月の国連サミットで採択されました。このSDGsは、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

私たちは「誰一人取り残さない」社会を作れているか、将来も北栄町に暮らす人々が豊かな暮らしを享受するための取り組みができているか、改めて振り返り、今後のまちづくりに活かしていく必要があります。



ロゴ：国連広報センター作成

第2章 北栄町の現状と課題

1. 北栄町の現状と特徴

■北栄町の概要

北栄町は、平成17年10月1日に旧北条町と旧大栄町が合併してきた町で、鳥取県の中央部に位置しています。全町域の約7割は、田畑と山林が占めており、自然豊かな町です。

町の全地域の土地利用状況については、耕地21.8km²（田8.8km²、畑地13.0km²）、林野地14.4km²となっています。耕地の占める割合は県内で1番目です。また、可住地面積（総面積から林野地域と湖沼地域を除いたもの）の割合についても県内で4番目です。

町の交通体系は、JR山陰本線の停車駅が2駅あるほか、県の東部と西部をつなぐ国道9号、さらに国道313号により岡山県とつながっていることに加え、山陰自動車道及び地域高規格道路の建設も進んでいることから、鳥取県における交通上の要衝の地ともなっています。一方、県内一位の人口を持つ鳥取市を有する県東部エリア、米子市、境港市を有し松江市とも隣接する県西部エリアから等しく離れており、鳥取県の中でも人口の少ない県中部エリアの中央に位置しています。



北栄町の概要図

■北栄町の人口

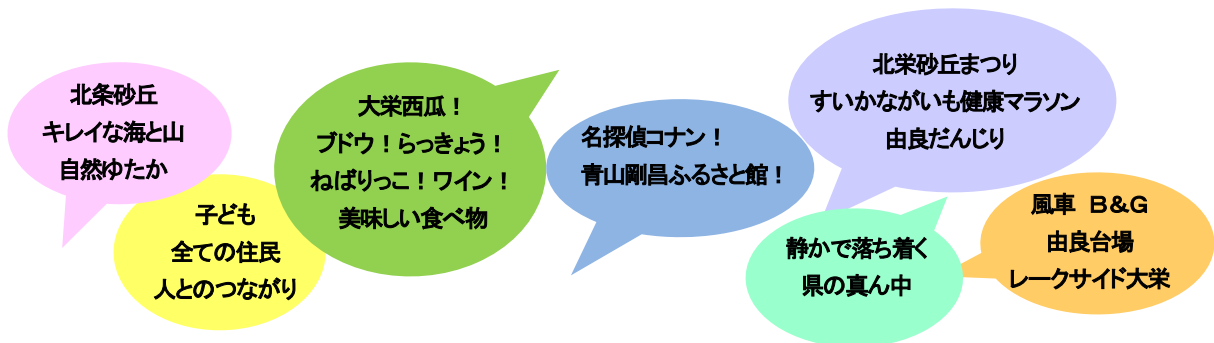
北栄町の人口は令和2年6月時点（住民基本台帳）で14,843人（男7,160人 女7,683人）となっており、1995年の17,228人（国勢調査）をピークとして年々減少しています。年齢別人口では、65

歳以下の人口は減少しているのに対し、65歳以上の人口は増加している状況です。また、世帯数については令和2年6月時点（住民基本台帳）で5,411世帯となっており、近年は横ばい傾向が続いています。将来の人口について、2030年には総人口が12,491人、2040年には10,769人となると推計（国立社会保障・人口問題研究所推計）されています。総人口について、年少人口（0歳～14歳）、生産年齢人口（15歳～64歳）、老年人口（65歳以上）の3区分を見ると、年少人口と生産年齢人口は、総人口の傾向と同じように減少を続けますが、老年人口は、2025年に5,000人を超え、それをピークとして微減していくと推計されています。また、年齢3区分の割合は、老年人口の増加により、2040年には、総人口に占める65歳以上人口の割合が、約4割になります。

■北栄町の魅力

北栄町の自慢と言え、何を思いつきますか？

中学生・町民アンケートで「北栄町の宝」を聞いたら、次のようなワードが出てきました。



(1) 魅力ある特産品が豊富な、農業の盛んなまち

農業は本町の主要産業です。農業産出額は平成29年では約88億4千万円。南部の黒ぼく土の丘陵地帯では大栄西瓜、秋冬野菜、花きの生産が、北条砂丘地帯ではらっきょう、ぶどう、ねばりっこ（県の園芸試験場で開発された新品種の長芋）、白ねぎ等の生産が行われており、土地の特性を活かした多様な農産物が生産されています。特産品の一つである大栄西瓜の2019年度の総生産額は20億円を突破し、同年にはG I（地理的表示）登録もされています。



大栄西瓜



北条砂丘のぶどう畑

(2) 北条砂丘風力発電所をはじめとした地域エネルギー

北栄町では「北条砂丘風力発電所」を管理運営しており、その規模は自治体が運営するものとしては全国最大級を誇っています。発電所の売電収入は「風のまちづくり事業」として、「将来の北栄町を担う子どもたちの育成支援」や「環境にやさしいまちづくりの推進」に使われています。

また、地球温暖化対策に貢献するべく、2019年12月には「気候非常事態宣言」及び「ゼロカーボン宣言」を表明し、2050年までのCO₂実質排出ゼロを目指すことにしています。



北条砂丘風力発電所



農業用施設と太陽光発電が立ち並ぶ

(3) 名探偵コナンに会えるまち

日本を代表する漫画「名探偵コナン」の作者である青山剛昌氏が北栄町の出身であることから、「名探偵コナンに会えるまち」づくりを推進しています。

JR由良駅（愛称：コナン駅）から青山剛昌ふるさと館までのコナン通りを中心に、キャラクターのブロンズ像等が多数並び、2017年には名探偵コナン関連ショップの入った「コナンの家 米花商店街」も完成しました。青山剛昌ふるさと館は、2018年夏に累計来場者数100万人を達成し、2019年度には年間来場者数が20万人を突破しています。

名探偵コナンに会えるまちづくりは観光面だけでなく、移住者向けのガイドブックや地域の子どもの学習教材等で使用されているほか、滋賀県湖南市との友好協定締結、米国の人気司会者であるコナン・オブライエンさんの来町のきっかけにもなりました。



青山剛昌ふるさと館 2007年3月オープン



米国人気司会者 コナン・オブライエンさん(コナン駅前)

(4) 国史跡である由良台場跡などの歴史・文化、自然環境とその恵み

北栄町には、国史跡由良台場跡や国の重要文化財2体を有する東高尾観音寺等の歴史・文化遺産が存在します。また、近代洋画界に足跡を残す洋画家の前田寛治、陶芸の生田和孝、北條土人形の加藤廉兵衛などを輩出した風土があり、現在も「北栄文化回廊」（町内で一斉に芸術文化に関する各種企画を開催し、周遊して楽しめるイベント）を開催しています。

東京都港区とは「お台場」をきっかけに交流を深めており、地域の歴史・文化資源を活用することで次世代に引き継ぐ取り組みも始まっています。



国史跡由良台場跡 1864（文久4）年築造



「花」 洋画家 前田 寛治 氏

(5) こども園から小中高まで、教育環境が充実したまち

北栄町には、こども園等が6園（うち公立4園）、小中学校は北条地区、大栄地区に各1校ずつあります。また、鳥取中央育英高校、中央高等学園専修学校もあり、小規模自治体でありながら充実した教育環境となっています。鳥取中央育英高校とは、2014年に「地域探究の時間」推進に関する協約を結び、町と高校が連携して、地域をフィールドとした課題発見型教育に取り組んでいます。

子どもの居場所づくりとしては、地域のボランティアが関わるこども北栄塾やほくほくプラザ事業、スポーツジュニアクラブなどを積極的に進めており、特に不登校になった子どもたちの学校復帰支援や居場所づくりとして、民間の教育機関によるフリースクールが開設されています。町と民間教育機関との連携により生活困窮世帯やひとり親世帯の小中学生の学習支援も実施しており、子どもたちを誰一人取り残さないよう教育機会の確保を図っています。

また、地域に講師を派遣する生涯学習出前講座を提供しており、生涯を通じた学習機会の確保を図っています。



地元特産品が登場するサプライズ給食



鳥取中央育英高校 高校生議会で町に提案

(6) 県下で最も低い要介護認定率、健康・福祉のまち

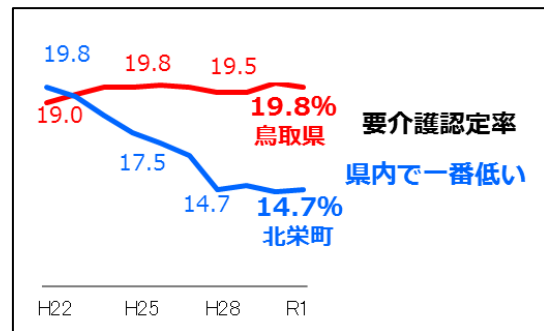
北栄町では、一般財団法人北栄スポーツクラブと連携した運動教室の取り組み、食生活改善推進員の活動推進、国民健康保険被保険者以外の住民への人間ドック受診助成対象の拡大、ヘルスアップ教室などを行い、病気のあるなしにかかわらず誰もがそれぞれの生きがいを持ち、自分らしく安心して楽しく暮らすことができる生活を目指しています。

北栄町の高齢化率は33%を超え、3人に1人は65歳以上となり、年々高齢化が進んでいる状況ですが、要介護認定率はここ数年 15%以下で推移しています。県下で最も低い要介護認定率となっているのは、体力づくりや健康づくり、介護予防の取り組みによる成果だと考えられます。

2020年3月には「北栄町地域福祉推進計画」を策定し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域共生社会を推進しています。



認知症搜索訓練



要介護認定率

2. 北栄町の主な課題

他の多くの自治体同様、北栄町でも人口減少・少子高齢化が進行することが予測されます。この問題は、産業、地域コミュニティ等での担い手の不足や活力の低下など、経済・社会に大きな影響を与えかねないものです。町の財政状況についても、公共施設・インフラの更新費用や、医療・介護・福祉にかかる費用は増加していくことが見込まれるため、一人当たりの負担額は増加していきます。

移住・定住施策により可能な限り北栄町の人口を維持していくことは必要ですが、日本全体が人口減少する中、北栄町だけが人口を増やすことは現実的ではありません。そのため、人口減少時代に対

応じた持続可能なまちづくりを進めていくことが重要となります。最も重要な点は、人口が減っても、暮らしている人々の暮らしの質を下げず、やりがい・いきがいを持って安全かつ快適に過ごし続けられる環境を維持することです。

一方、働き続けることのできるまちであるためにも、**地域内の産業基盤を維持**していくことが必要です。特に、地域資源などを活用した北栄町ならではの産業を持続させていく必要があります。本町では多くの商品・サービスの供給を外部に依存しており、その結果、地域内の「お金」の多くが地域外に流出しています。地域の中で購入できるものは**可能な限り地域内で購入**していくことで、**資金の流れを地域の中に留め**、地域経済を少しでも活性化していくことが可能になります。もちろん、地域で作った商品・サービスを**他地域に売っていわゆる「外貨を稼ぐ」**ことも同様に重要となります。

第3章 北栄町の将来ビジョン（2030年の目指すべき将来像）

北栄町が目指すべき将来像（将来こうなっていたらよい、という状態）

「人と自然が共生し 確かな豊かさを実感するまち」を掲げ、その具体的な内容を以下のように示します。ここで示した将来像は、行政だけで実現することは難しく、町民、地域コミュニティ、企業、その他関係者が一体となって共有し、実現に向けて取り組んでいくべきものです。

（1）地域資源の更なる活用による地域経済の好循環

北栄町に暮らす、もしくは北栄町で働くすべての人々が、自らやりがいをもって働くことのできる環境にいます。農業については、**就農者数が一定程度維持**され、耕作放棄地も減少するとともに、引き続き**多様で魅力ある農産物が産出**され、地域の稼ぎにつながっています。商工業についてもその地域・事業者ならではの魅力を活かした商品・サービスが提供されています。また、**町内でのサービス・商品の購入量が増**えており、町内消費が増えた結果として地域経済の活性化が生まれ、地域で働く人のやりがいにもつながっています。生活を豊かにするのみならず、**地球温暖化対策やプラスチックごみの削減**にもつながるなど地球環境に優しいサービスが地域内から供給されています。

（2）持続可能かつ快適・安全に暮らせ、地球環境に貢献するまち

人口の減少に伴って公共サービスの総量は暮らしの質を下げずに適正化されており、長期的な視野に立っても北栄町が住みよいまちになっています。**自然エネルギーの活用や断熱性能に優れた住宅制度の普及**により、地球環境にとっても「持続可能」であるまちが実現しつつあります。

生活に必要な商店、施設に誰もが容易にアクセスできる仕組みが確保されており、自家用車以外の選択肢を取ったとしても不自由なく暮らせ、**地域に賑わい**が生まれています。土地利用についても、住宅地、企業用地、農地・山間地などの明確化がある程度なされ、まちの空洞化の解消に向かって一定のめどが立っています。生活を維持するのに必要な道路、インフラ、公衆衛生は人々が暮らす場所にきちんと整備されており、**防災を意識したインフラの整備**が進んでいるため、安全で安心な暮らしが守られています。

（3）地域の中で生涯を通してやりがい・いきがいをもちながら過ごせるまち

様々な地域のコミュニティの中で多くの人々が活躍し、互いに助け合っており、結果として地域における見守り体制や災害に対する地域ごとの備えが整っています。すべての人が自らの権利を余すことなく行使するための障害が排除され、**社会福祉の充実**も図られており、すべての人が生き活きと過ごしています。生涯を通して**社会貢献、文化活動等の様々な活動**に取り組むことができ、**心身の健康**

の増進にも積極的に町民が取り組んでいるとともに、そのためのサポート環境がしっかりと整っています。自らの住む地域、町に誇りを持っており、町政の方針についても積極的な議論が各所でなされ、行政への住民参加も多い状態です。

(4) 誰一人取り残さず、地域への理解を育む子育て・教育環境

それぞれの子どもが生まれ育った環境に関わらず、「誰一人取り残さない」充実した教育環境の提供がなされています。更に、子どもや若者が豊かな自然環境、歴史・文化に囲まれつつ、十分な学習とトレーニングの機会を得られ、地域や社会のことを学ぶ機会、文化・スポーツなどに親しむ機会を持つことができます。これらに加えて子育てのためのサポートが充実しており、子育て世代が安心して子育てを町で行うことができます。また、子どもたちが地域とのつながりを持てる機会も増え、結果として町に魅力を感じ、将来の居住の選択肢に北栄町が入るような環境となっています。

(5) 北栄町ならではの魅力の国内外へのより深い浸透

豊かな自然環境やそこから生み出される農産物、名探偵コナンに会えるまちづくりを含めた観光、歴史・文化資産、風力発電施設をシンボルとした環境への取り組みなど、北栄町の様々な魅力が強化され、町民が暮らしの中で実感できています。観光客だけでなく、定期的に訪れたり、北栄町における活動に主体的に参加したりするなど、多様な形での北栄町のファン、北栄町に関わる人々が増えています。また、個人レベルにとどまらず、国内外の企業や自治体など外部との交流が様々な形で生まれています。町の多様な魅力が外部に伝わっていくことで、結果として町民だけではなく多様な人が町に関わっており、その中から移住・定住する人も増えている状態となっています。

第4章 施策の体系図・部門別計画

北栄町の将来ビジョンを実現するために行う具体的な施策について、以下のとおり体系図を示すとともに、詳細について第1節以降に示します。

将来ビジョン（2030年の目指すべき将来像）

人と自然が共生し 確かな豊かさを実感するまち

①地域資源の更なる活用による地域経済の好循環	②持続可能かつ快適・安全に暮らせ、地球環境に貢献するまち	③地域の中で生涯を通してやりがい・いきがいを持ちながら過ごせるまち	④誰一人取り残さず、地域への理解を育む子育て・教育環境	⑤北栄町ならではの魅力の国内外へのより深い浸透
------------------------	------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------	-------------------------

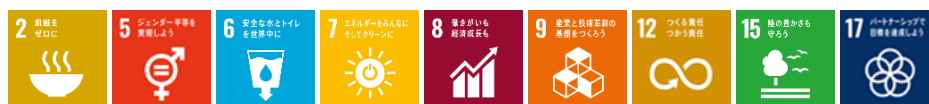
今後10年間のまちづくり

部門別計画	基本施策	具体的施策
第1節 地域資源で 稼ぎ賑わう まちづくり (産業・観光)	第1項 農林業の振興	1. 農業の多面的価値を活かすまちづくり 2. 健全な森林をつくる
	第2項 商工業の振興	1. 商工業の振興
	第3項 観光の振興	1. 観光資源の活用 2. 広域観光の促進 3. 道の駅の再整備
第2節 生涯学び 未来を育てる まちづくり (教育・生涯学習・子育て・文化・スポーツ)	第1項 未来を作る教育の推進	1. 教育環境の充実 2. 地域を支える人材の育成 3. 生涯学習活動の推進
	第2項 子育て支援の充実	1. 結婚、出産、子育てに安心、喜びを感じられる環境づくり 2. 子育てと仕事の両立支援
	第3項 文化・芸術の振興	1. 文化活動及び文化財の保存・活用の推進
	第4項 スポーツの振興	1. スポーツの振興
第3節 誰一人取り残さない まちづくり (人権・福祉・健康・男女)	第1項 人権教育の推進	1. 人権教育の推進
	第2項 福祉の充実	1. 地域福祉の充実 2. 高齢者福祉の充実 3. 障がい者福祉の充実
	第3項 健康づくりの推進	1. 健康づくり活動の推進
	第4項 男女共同参画社会の推進	1. 男女共同参画社会の環境整備
第4節 安全で持続可能な まちづくり (環境・インフラ・安全・生活)	第1項 環境にやさしいまちづくりの推進	1. 再生可能エネルギー等の活用によるまちづくりの推進 2. 環境にやさしいライフスタイルへの転換 3. ごみの減量化と適正処理の推進
	第2項 インフラの整備	1. 交通基盤の整備・維持管理 2. 上水道の整備・維持管理 3. 下水道の整備・維持管理 4. 公共施設・住環境の整備・維持管理 5. 情報化の推進
	第3項 安全なまちづくりの推進	1. 地域防災・危機管理対策の充実 2. 生活安全の対策の充実
第5節 人と人との つながり を育む まちづくり (コミュニティ・町政・交流・移住定住)	第1項 地域活動・まちづくりへの参画推進	1. 協働活動の推進 2. 開かれた町政運営
	第2項 交流の推進	1. 交流の推進
	第3項 移住定住の促進	1. 北栄暮らしの支援
第6節 健全な財政運営	第1項 健全な財政運営	1. 行財政改革の推進 2. 歳入確保に向けた取り組み

第1節 地域資源で稼げ賑わうまちづくり（産業・観光）

北栄町で働く人、暮らす人がやる気や能力を発揮できたり、新たにチャレンジしたりできる環境をつくります。北栄町の魅力ある農業・商工業等を維持し・発展させ、新たな産業を生み出す取り組みを応援し、地域の人が期待すること、必要とすることを把握し、稼げるまちづくりを関係者と一体となって進めます。

「名探偵コナンに会えるまち」や豊かな自然環境・農産物・歴史・文化を活かした観光の取り組みも推進し、地域内での経済活動の活性化を図ります。そして、北栄町の持つ魅力を向上させ、町内外に発信していくことで、町内外の「北栄町のファン」を増やします。



第1項 農林業の振興

農産物の価値を高め、意欲ある人を支援

これまで「大栄西瓜」を代表とした農産物のブランド化に成功し、農業の付加価値を高めてきました。

今後は、担い手を確保するため、農業の魅力を発信し、就農の意欲のある人を増やすとともに、意欲のある生産者を応援し、園芸生産拡大を支援します。また、農地や山林の適切な管理を実施し、有害鳥獣に取り組みます。

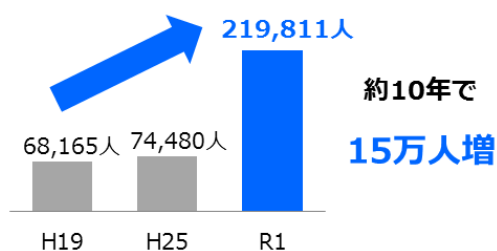


大栄西瓜の栽培

青山剛昌ふるさと館の入館者は年20万人を超え、県を代表する観光地となりました。

今後は、他の観光施設や文化・歴史・文化財の活用、農業体験やものづくり体験等、あらゆる分野や他自治体との連携により、個人や団体の観光客を幅広く誘致し、魅力ある鳥取中部観光を創出します。

青山剛昌ふるさと館 入館者数



みんなでやること、できること

- ・北栄町の農産物の美味しさをみんなで宣伝しよう。
- ・地域の野菜や商品を購入し、地域の商店を利用しよう。
- ・青山剛昌ふるさと館やコナン通りに行ってみよう。
- ・北条オートキャンプ場やお台場公園で地元の自然や歴史を満喫しよう。

ほくえい未来トークの意見（理想の将来像、アイデア）

- ・特産品の継続
- ・農業をしたい人の増加
- ・生産性の高い農業
- ・地産地消
- ・有機栽培等で付加価値
- ・農地山林の管理
- ・有害鳥獣対策
- ・働く環境の改善
- ・若者に魅力ある職場
- ・企業の個性化、魅力化
- ・地元の商品が買える店
- ・地産地消型レストラン
- ・観光コースを紹介
- ・コナンと他の魅力がつながる
- ・町民ガイドの育成
- ・宿泊施設等は中部一体で考える

第2項 商工業の振興

地域の雇用を守り、地域資源と技術を継承

町内の大多数を占める中小企業は、地域の経済や雇用をはじめ、町民の暮らしを支えています。

事業所の安定経営や働きやすい職場づくりを支援し、I J Uターンの促進による人材確保を進めるとともに、地域資源と技術を次世代に伝承できるような事業承継を促進します。

第3項 観光の振興

魅力ある観光地「名探偵コナンに会えるまち」

第2節 生涯学び未来を育てるまちづくり（教育・生涯学習・子育て・文化・スポーツ）

子どもが健やかに育ち、能力を發揮できる環境を整えます。子育ての不安や負担の解消を図るとともに、豊かな自然環境や歴史・文化といった地域資源を最大限活用し、北栄町ならではの魅力ある教育を行い、北栄町で生まれ育ってよかったと子どもたちが心から思える環境をつくります。

北栄町の貴重な文化財を保存活用し、町の歴史・文化を次世代に伝えていきます。文化・芸術活動や生涯学習・生涯スポーツを推進し、町民一人ひとりが生活を豊かなものにしていくことを支援します。



第1項 未来を作る教育の推進

子ども達の未来の選択肢を広げる

子どもは未来を託すかけがえのない宝です。社会変化が激しい時代でも子ども達が夢をもって生きることができる、未来につながる教育が大切です。

学力向上、心と体の健康、ICTやグローバル教育はもちろん、町の豊かな地域資源や地域課題をテーマにした実践型学習、職業体験を通して、子ども達の未来の選択肢を広げる取り組みを展開します。

また、子どもから高齢者まで、生涯にわたっての学習機会や地域での学びの場所を提供し、地域リーダー等の人材育成を支援します。



北条中学校 職業体験

第2項 子育て支援の充実

子育ては社会全体で応援する

妊娠・出産・子育てのワンストップ窓口（ネウボラ）を設置し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを行ってきました。

今後も仕事と両立する家庭には、保育料無償化や延長保育等で支援し、在宅で育児する家庭には、給付金や一時預かり等で支援する等、あらゆる子育てを応援します。また、これから親になる若者に対し、予期せぬ妊娠や虐待を予防する教育も実施します。

第3項 文化・芸術の振興

国史跡由良台場跡や「名探偵コナン」も生かして

近代洋画家の前田寛治氏等の多くの芸術家や文化人を輩出し、国史跡由良台場跡等の全国に誇れる文化財を守り続けてきましたが、その存在や価値が十分に浸透しているとはいえません。これらの文化・芸術資源を積極的に保存、活用し、地域の文化・芸術や歴史に親しみ、高めることのできる人材の育成に努めます。

また、漫画「名探偵コナン」の作者、青山剛昌氏の出身地であることから、本町発の「マンガ文化」を世界に向けてアピールし、漫画・アニメ文化の振興にも取り組みます。

第4項 スポーツの振興

誰でもいつでも気軽にスポーツを

健康寿命を延ばすため、幅広い年齢層のニーズに対応したスポーツ・レクリエーションの取り組みが必要です。誰もがいつでもどこでも気軽にスポーツを楽しめる生涯スポーツ社会を目指します。

みんなでやること、できること

- ・妊娠・出産・子育ての不安は一人で悩まず相談しよう。
- ・同日公開参観日に、子どもたちの学ぶ姿を見てみよう。
- ・職場体験で、北栄町にある仕事の内容や魅力を知ろう。
- ・子育て講座や生涯学習出前講座を活用しよう。
- ・地域の歴史、伝統文化を次世代につなげよう。

ほくえい未来トークの意見（理想の将来像、アイデア）

- ・保育料、教育費が安い
- ・学力・体力が高い
- ・英語教育を充実
- ・子ども人口の維持
- ・子どもの居場所や遊び場
- ・子どもが健康に過ごせる
- ・教育のためなら住みたいと思える町

第3節 誰一人取り残さないまちづくり（人権・福祉・健康・男女）

年齢、性別、障がいや病気の有無に関わらず、すべての人々が自らの権利を侵されることなく、能力を発揮できる環境づくり、普及啓発を行います。町民が将来の不安なく暮らすことができるためのサポートを徹底し、健康なからだづくり、高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉を推進します。



第1項 人権教育の推進

誰一人取り残さない社会をつくる

社会情勢や国民意識の変化に伴い、新たな人権問題も生まれています。「障害者差別解消推進法」、「ヘイトスピーチ解消法」、「部落差別解消推進法」等の法律も整備され、社会全体で人権侵害・差別に対する取り組みを強化してきました。

北栄町では、人権教育・啓発の推進に加え、人権の基盤となる生活の安定のための就労・福祉施策を実施し、「誰一人取り残さない」SDGsや、地域を丸ごとつなげる地域共生社会に取り組みます。



ほくほく食堂（こども食堂）

第2項 福祉の充実

誰もが住み慣れた地域に住み続けるために

少子高齢化や人口減少が進み、生活の多様化・複雑化し、孤立しやすい世帯も増加しています。

様々な立場の人たちが垣根を越えて手を取り合う「地域共生社会」を実現するため、地域福祉の担い手養成やネットワークの構築等に取り組みます。

また、健康寿命を延ばすための介護予防の取り組み、障がい者福祉サービスを向上させ、障がいのある人に対する地域の理解を進める取り組み等、たとえ介護・医療が必要になっても、住み慣れた地域で自立した生活を安心して続けていくことができるよ

う体制強化に取り組みます。

第3項 健康づくりの推進

健診を受診し、自分らしく暮らす

私たちが目指す健康な生活とは、病気のあるなしにかかわらず、誰もがそれぞれの生きがいをもち、自分らしく安心して楽しく暮らせる生活です。

健診を受診することで、身体の状態を知り、運動習慣や健全な食生活の定着、生活習慣病の予防、心の健康づくりに取り組み、健康な生活を目指します。

第4項 男女共同参画社会の推進

男女が認め合い、支え合い、輝く社会をつくる

人口減少や少子高齢化が進む中、持続可能な社会を確立するには、家庭、地域、職場等のあらゆる場面で男女共同参画の視点を取り入れ、性別にかかわらず誰もが認められ、責任を分かち合い、支え合い、活躍できる社会の実現が必要です。

みんなでやること、できること

- ・自分にできる地域の支え合いやボランティア活動に参加しよう。
- ・障がいのある人への理解を深め、地域で助け合おう。
- ・健康診査を受けて、自分の体の状態を知ろう。
- ・禁煙、節酒、歯の健康に取り組もう。

ほくえい未来トークの意見（理想の将来像、アイデア）

- ・気軽に集える場所
- ・地域の知っている人を増やす
- ・運動を楽しんでできる（ギネスに挑戦）
- ・かかりつけ医の充実
- ・緊急時の医療介護相談
- ・健康寿命の延伸
- ・介護が必要な人が家で暮らせる
- ・障がい有無に関わらず誰でも交流できる
- ・高齢者が楽しく安心し、活躍して暮らせる
- ・ショッピングバス
- ・移動スーパー
- ・老若男女が共助
- ・働く親の支援の場所を増やす

第4節 安全で持続可能なまちづくり（環境・インフラ・安全・生活）

住み続けられるまちづくりを進めます。人口減少・少子高齢化、交通事故や犯罪等の社会問題、地球温暖化・廃棄物等の環境問題、増加する災害等に対する取り組みや体制づくりをハード・ソフト面一体となって進めます。道路、上下水道、公共施設、廃棄物処理施設、情報通信基盤等の人々の生活・生命の根幹にかかわるインフラの維持・整備を進め、これからの適切なあり方について検討を進めます。



第1項 環境にやさしいまちづくりの推進

環境のため、つくる責任、つかう責任

私たちが使うエネルギーのほとんどは化石燃料であり、地球温暖化や資源枯渇等の原因となっています。また、エネルギーに関するお金のほとんどは、町外や国外に流出しています。

家庭や事業所、地域への再生可能エネルギー等設備導入の取り組みや、地域新電力、熱供給事業等のエネルギーの地産地消の仕組みづくりにより、人為起源のCO2排出の実質ゼロやエネルギーに関するお金が地域内循環する仕組みづくりにつなげます。

家庭ごみは15分別の収集を行っていますが、1人あたりのごみ排出量は年々増加しています。再資源化やごみの発生抑制、再利用に取り組みます。

第2項 インフラの整備

道路は計画的に補修、地域交通はみんなで支える

道路は、交通や防災の機能を持つ重要なインフラです。老朽化により破損箇所が増加していることから、計画的に維持管理し、長寿命化を図ります。

公共交通は、人口減少・少子高齢化により利用者が減少しています。一方、通院や買い物のため、高齢になっても免許を返納することができない人もいることから、交通と福祉分野が連携し、移動ニーズにあったバス路線再編やタクシー助成、共助交通の実施支援等、誰でも移動可能となる交通ネットワークの構築に取り組みます。

また、今後の公共施設のあり方の検討や、年々高速化する情報通信の基盤整備に取り組みます。

第3項 安全なまちづくりの推進

日頃から災害や危険に備える

日本各地で地震や集中豪雨が発生し、新型コロナウイルス等の新しい脅威への対応も必要となっています。災害や危機管理への備えを忘れることなく、日ごろから地域での交流・訓練等により防災力を高めておく必要があります。

また、交通事故、犯罪の発生を抑止するため、防犯灯、防犯カメラ、交通安全施設の整備を行います。

人口減少・高齢化に伴い、廃屋・空家が増加しています。倒壊、病虫害の発生のおそれがあるため解体・撤去の推進が必要となっています。



防災訓練

みんなでやること、できること

- ・徒歩や自転車や公共交通機関を利用しよう。
- ・4Rに取り組もう。
- ・公共施設のあり方を、みんなで考えよう。
- ・自治会や町が実施する訓練等に参加しよう。
- ・防災マップで、地域の状況を確認しておこう。

ほくえい未来トークの意見（理想の将来像、アイデア）

- ・エネルギーの地産地消
- ・自然の豊かさ
- ・景観の維持
- ・車がなくても不便でない
- ・インターネット環境の整備
- ・誰でも参加できる防災行事
- ・登下校時間に合わせたウォーキングで子どもの見守り
- ・風車・太陽光の活用
- ・カーシェアリング
- ・自動運転・無人運転
- ・町内巡回バス
- ・空家の取り壊し
- ・防災士を増やす

第5節 人と人のつながりを育むまちづくり（コミュニティ・市政・交流・移住定住）

町民一人ひとりの生活を豊かにするため、町民の活躍の場であるコミュニティの取り組みを積極的に支援します。また、町民自らが町をつくり、守り、育てる「町民自治のまち」の実現に向け、町民参画を進め、町民と行政が積極的に議論できる環境を整えます。他の自治会や外国との積極的な交流を町民や企業、学校等と連携して行い、人々が行き交い、様々なネットワークを形成できるまちづくりを進めます。



第1項 地域活動・まちづくりへの参画推進

地域に関心を持ち、まちづくりに参加する

人口減少等の社会の急激な変化によって地域課題は増加し、自治会等の地域活動の担い手不足も懸念されています。

これらの地域課題に向き合うためには、町民と議会と行政が協働することや誰もが地域に関心を持ち、互いに尊重し、協力して地域活動を担う必要があります。町民の地域活動や担い手育成を支援し、持続可能な地域づくりを推進します。

また、市政への町民参画を促進するために欠かせないことは、町民への情報提供です。情報伝達手段の多様化に対応し、情報を受け取る人が利用しやすい情報媒体（広報誌、告知放送、SNS等）での発信に努め、地域課題の共有を図ります。

第2項 交流の推進

多様な交流や民泊を

台湾台中市大肚区や滋賀県湖南市と友好交流協定を締結し、青少年交流や商工会交流、農産物のPR等を行っています。今後も一般町民や民間交流を推進し、国際感覚豊かな人材の育成を促進します。



台湾台中市青少年交流であやとり

現在、交流・関係人口の増加、北栄町ファンの増加を目的に、体験型教育旅行の受け入れを行っていますが、受入家庭が不足している状況です。農家民泊の活動意義・目的を幅広く周知し、受入家庭を増やすよう取り組みます。

町内には宿泊施設が少ないため、民泊事業を行っている事業者や新規事業者への支援を行い、観光客等の町内滞在時間の延長を図ります。

第3項 移住定住の促進

北栄暮らしの魅力を発信

現在、移住者に対する支援や、相談会等に参加して北栄町のPRを行っています。引き続き関係機関や中部地区の他市町とも連携し、雇用や住まい、教育・子育て、福祉等のコンテンツを様々なツールで情報発信し、移住定住の希望者の発掘や支援を行います。

みんなでやること、できること

- ・地域の話し合いの場に参加しよう。
- ・住民説明会への参加、アンケート回答、地域活動への参加など、自分にあった町民参画を見つけよう。
- ・国際交流や多文化理解のイベントに参加してみよう。
- ・地域の歴史文化、魅力を説明できるようになる。

ほくえい未来トークの意見（理想の将来像、アイデア）

- ・自治会の活性化
- ・交流できる場所がある
- ・個々の得意分野を生かす
- ・若者が活躍するまち
- ・信頼できる情報発信を
- ・国内外の人に自慢できる
- ・農業の観光化
- ・移住体験ツアー
- ・若者が地元に戻ってくるための施策
- ・地域行事の継続
- ・人のつながりがある
- ・まちのあり方を話す
- ・情報の共有化
- ・町の魅力発信
- ・空家の有効活用
- ・一人暮らしをサポート
- ・宿泊場所がある

第6節 健全な財政運営

人口減少・少子高齢化が予測される中、持続可能で健全な財政運営を行い、厳しい財政状況下においても将来にわたって住民サービスを維持し、その質を向上させていくよう努めます。このため、行財政改革を推進し、歳入確保に向けた取り組みを一層推進します。



第1項 健全な財政運営

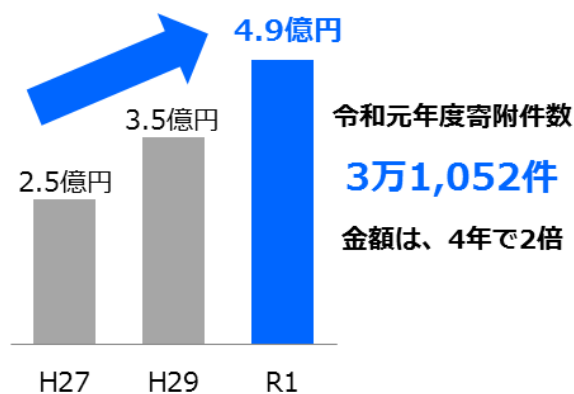
持続可能で健全な財政運営を

人口減少が進むことにより、普通交付税は減少することが予想され、今後、**厳しい財政状況**が見込まれます。持続可能で健全な財政運営のため、行財政改革及び事務事業の見直しを行い、民間にできることは民間に委ねるなど、**コンパクトな自治体運営**が必要となっています。

行政改革プランの実行に加え、AIやRPAなどの**最新テクノロジー**を導入し、業務の効率化を図るとともに、職員の人材育成により、業務の質の向上を図ることで、**厳しい財政状況下でも住民サービスの向上と効率化の両立**を図っていきます。

また、適正な課税と確実な徴収、**ふるさと納税**の取り組みを推進することにより、**自主財源の確保**に努めます。

北栄町ふるさと納税 寄附金額



みんなでやること、できること

- ・町の財政状況に関心を持ち、一緒に考えたり、意見を出したりしよう。

ほくえい未来トークの意見 (理想の将来像、アイデア)

- ・事業の整理、集中、選択
- ・負の財産は残さない
- ・公共施設の縮小・改修
- ・必要施設の検討
- ・複合施設として建設する (交流と芸術分野の複合等)

まちづくりビジョンの施策とSDGsの17の目標



第1節 地域資源で稼ぎ賑わうまちづくり(産業・観光)			○		
第1項 農業の振興	1 農業の多面的価値を活かすまちづくり		○		
	2 健全な森林をつくる		○		
第2項 商工業の振興	1 商工業の振興				
第3項 観光の振興	1 観光資源の活用				
	2 広域観光の促進				
	3 道の駅の再整備				
第2節 生涯学び未来を育てるまちづくり(教育・生涯学習・子育て・文化・スポーツ)		○	○	○	○
第1項 未来を作る教育の推進	1 教育環境の充実		○		○
	2 地域を支える人材の育成				○
	3 生涯学習活動の推進				○
第2項 子育て支援の充実	1 結婚、出産、子育てに安心、喜びを感じられる環境づくり	○		○	
	2 子育てと仕事の両立支援	○			
第3項 文化・芸術の振興	1 文化活動及び文化財の保存・活用の推進				○
第4項 スポーツの振興	1 スポーツの振興			○	○
第3節 誰一人取り残さないまちづくり(人権・福祉・健康・男女)		○	○	○	○
第1項 人権教育の推進	1 人権教育の推進	○			○
第2項 福祉の充実	1 地域福祉の充実	○		○	
	2 高齢者福祉の充実			○	
	3 障がい者福祉の充実			○	
第3項 健康づくりの推進	1 健康づくり活動の推進		○	○	
第4項 男女共同参画社会の推進	1 男女共同参画社会の環境整備			○	○
第4節 安全で持続可能なまちづくり(環境・インフラ・安全・生活)				○	
第1項 環境にやさしいまちづくりの推進	1 再生可能エネルギー等の活用によるまちづくりの推進				
	2 環境にやさしいライフスタイルへの転換				
	3 ごみの減量化と適正処理の推進				
第2項 インフラの整備	1 交通基盤の整備・維持管理				
	2 上水道の整備・維持管理				
	3 下水道の整備・維持管理				
	4 公共施設・住環境の整備・維持管理			○	
	5 情報化の推進				
第3項 安全なまちづくりの推進	1 地域防災・危機管理対策の充実				
	2 生活安全の対策の充実			○	
第5節 人と人とのつながりを育むまちづくり(コミュニティ・町政・交流・移住定住)					○
第1項 地域活動・まちづくりへの参画推進	1 協働活動の推進				
	2 開かれた町政運営				
第2項 交流の推進	1 交流の推進				○
第3項 移住定住の促進	1 北栄暮らしの支援				
第6節 健全な財政運営					
第1項 健全な財政運営	1 行財政改革の推進				
	2 歳入確保に向けた取り組み				

